

楊德昌作品 A Masterpiece by Edward Yang

BEST FILM, Golden Horse Award 1986

GRAND PRIX SPECIAL DU JURY, Silver Leopard Award, Locarno International Film Festival 1987

BEST DIRECTOR AWARD, Pesaro International Film Festival 1988

BEST SCREENPLAY AWARD, Asia-Pacific Film Festival 1988

UN CERTAIN REGARD, Official Selection, Cannes International Film Festival 1988

編劇:小野/楊德昌 Screenplay:Hsiao Yeh, Edward Yang

演員:繆騫人/李立群/金士傑 Players:Cora Miao, Lee Li-chun, Chin Shih-chieh

© 1986 Central Motion Picture Corporation + Golden Harvest (H.K.) Ltd.

Distributed by Far East Entertainment Company + Bitters End Inc. + ZEMBUN

# 恐怖分子

## Terrorizers

【監督】エドワード・ヤン(楊徳昌)  
 【脚本】シャオ・イエ(小野)  
 エドワード・ヤン  
 【脚本・演出顧問】チェン・クオファー(陳國富)  
 【出演】リー・ルー・チュン(李立群)  
 コラ・ミオオ(繆騫人)  
 チン・シーチエ(金士傑)ほか  
 1986年  
 台湾・香港合作  
 109分  
 カラー

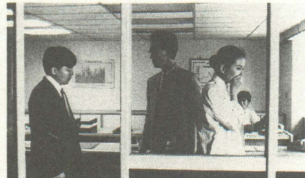


また醒めやらぬ台北の街。  
 バトカーのサイレンが、  
 人々の静寂を打ち破る……。  
 恋人と一緒に朝を迎えたアマチュア・カメラマンの小強(シャオチヤン)。アジトが警察の手入れに遭い、アパートから逃走する混血少女・淑安(シューアン)とその仲間たち。勤務先の病院に車を飛ばす李立中(リー・ルー・チュン)と、彼を家から送り出して小説の続きを書き始めようとする妻の小説家・郁芬(イーフェン)。…この時点では見も知らぬ全くの他人同士であったこれら3つの人間関係が、淑安のかける1本のいたずら電話をきっかけに錯綜し始める。ついに彼はらに関わる全ての人々を巻き込みながら、悪夢のような悲劇を招き寄せる。



ヌーヴェルヴァーグが切り開いた  
 地平の遙か向こうに屹立する  
 脅威の傑作。

エドワード・ヤン(楊徳昌)の作品中、最大級の賞賛を世界から博し、また90年に台湾の映画人、批評家らが集結して開催された“1980年代台湾・香港映画十大傑作選”はホウ・シャオシェン(侯孝賢)の『悲情城市』を差し置いて『恐怖分子』をベストワンに選定した。アジアで映画の新しいムーブメントが、まさに胎動し始めたその時に“我々の映画”と呼ぶに相応しい作品が出現したことが、いかに衝撃をもつて迎えられたかを物語る出来事と言えよう。この一作でエドワード・ヤンは自分たちがゴダールらのヌーベルヴァーグのその先に存在している事を世界に宣言してみせたのである。



映画が結末を迎えるとき、  
 “恐怖分子”が呼吸を始める…。

孤独感と絶望、狂気、そして愛への渴望を抱えた都会人たちの交錯を通して、誰もが知らぬ間に他人を傷つけ“恐怖分子(テロライザー)”と化していく現代都市の不条理を、鋭利なタッチと周到な構成のもと描き出したエドワード・ヤン(楊徳昌)の『結核街少年殺人事件』、『エドワード・ヤンの恋愛時代』と1作ごとに変わり続ける彼の作品がいつも観客をとらえて離さない魅力——スクリーンから立ちのぼるただならぬ気配が、私たちの中に潜む凶暴な何かを覚醒させてしまう…。『恐怖分子』は加速するストーリーへ見るものを巧みに誘い込む。3つのストーリーが現実と妄想を絡み合わせて悲劇的な結末へと導き、映画史上最も自由なエンディングは、見る者にあらゆる解釈を可能にさせる。いつしか観客の中に芽生えた“恐怖分子”が選り取る結末とは…。『恐怖分子』は世紀末の現代都市がはらむ悲劇を予言してみせる。

配給◎Far East Entertainment Company + J&K + K&H + ZEMBUN J&K + K&H + ◎http://www.bitters.com

暴力衝動とでも言うべきブチ切れそうな瞬間を絶えず『恐怖分子』は抱えている。増殖していく怒りや苛立ちを、ゆったりしたりリズムの中に徐々に溜めていく……。

松岡錠司【映画監督】

日常に蠢く平凡な風景。

エドワード・ヤンも、そんな世界に自分が放り出された時に感じる

恐怖を理解できる。特別な細胞の持ち主なのだ。

北村信彦【HYSTERIC GLAMOUR】

エドワード・ヤンの映画は、今現在の私達のいる場所を常に見据える所から始まっている。

大友良英【ミュージシャン】

エドワード・ヤンの空気がある。

その空間の中に僕はいつかこのようにとドキドキした気持ちを感じる。

筒井道隆【俳優】

7月27日(土)より待望のレイトロードショー!  
 《8月16日(金)まで》

(連日) PM8:40~一回上映

★前売鑑賞券大絶賛発売中!

¥1,400 (当日一般 ¥1,700のところ)

アメリカ村 Big Step4F 06-282-1460

パラダイス・シネマ

一九八六年◎台湾金馬獎グランプリ  
 一九八七年◎ロカルノ国際映画祭銀豹賞  
 一九八八年◎ベサロ国際映画祭最優秀監督賞  
 一九八八年◎カンヌ国際映画祭ある視点部門出品  
 一九八八年◎アジア太平洋映画祭最優秀脚本賞